

5 - 4 東海地方の微小地震の分布 (1995年5月1日～1995年10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May 1, 1995-October 31, 1995)

名古屋大学理学部
School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1995年5月1日より1995年10月31日までの6ヵ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

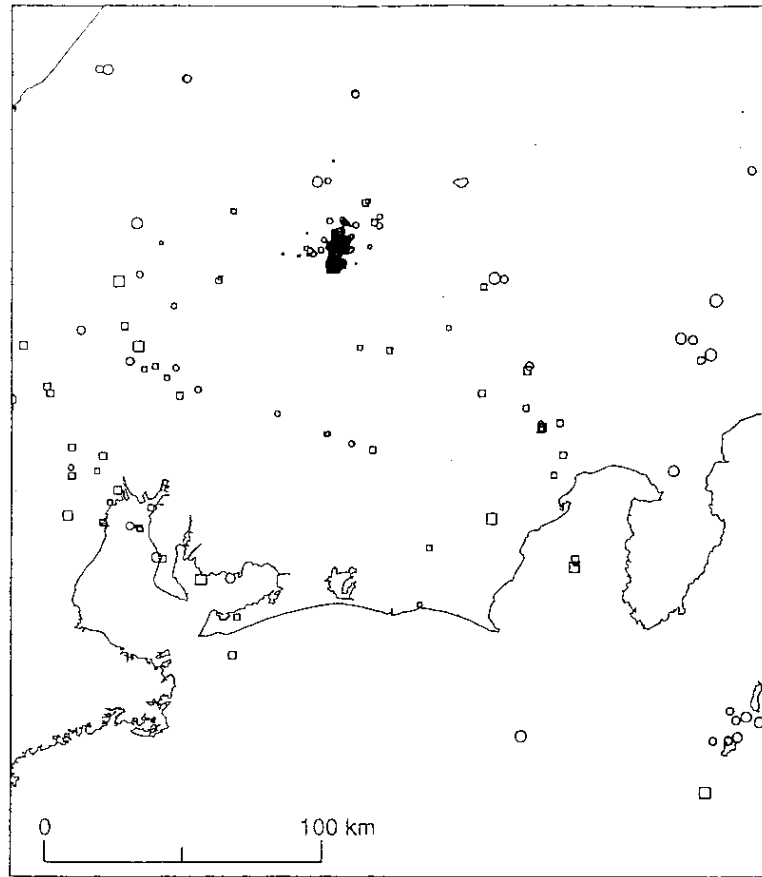
第1図は1995年5月1日より1995年10月31日までの6ヵ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を3ヵ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) この期間での愛知・岐阜・三重県等西部地域での地震活動は、M3以上の地震が愛知県内で13回、岐阜県内で3回、三重県内で2回発生したが期間を通じて定常的であった。特に、8月15日に岐阜・滋賀県境でM4.8のや、深い地震が発生したほか、9月4日に志摩半島の東沖でM4.1の地震が発生した。
- (2) 静岡県西部から長野県南部の地域では8月30日に浜名湖の東でM3.8の地震が発生したが概ね平穏であった。駿河湾中央部では6月19日から26日にかけてM3.6の地震などM3以上の地震4回を含む活動が見られた。この地域では9月14日M3.4、9月19日M3.2、10月29日M3.2などの活動が見られる。
- (3) 伊豆半島の川奈崎から東方の沖にかけて9月11日から微小地震活動がはじまった。14日頃から静穏化した。18日から2日ほど活動的となり徐々に静穏になった。9月29日からは非常に活動的となった。その後は徐々に静穏化している。この間、10月6日から伊豆半島南沖の神津島付近でも活発な地震活動が見られた。
- (4) 長野県西部地域ではM3以上の地震がこの期間に24回と活動的であった。7月までは主に群発域の南部で活動があったが8月からは北東部に活動域が飛び、両地域で活動しているが南の地域ではや、静穏化している。第3図に前報²⁾に引き続いてこの地域の地震活動の空間分布の時間変化を示す。また、2年間程静穏であった乗鞍岳南西地域でも8月11日頃より地震活動が活発化している。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1994年11月1日～1995年4月30日), 連絡会報, 54 (1995), 374-377.
- 2) 名古屋大学理学部：御岳山南東の地震活動 (1995年), 連絡会報, 54 (1995), 471-472.

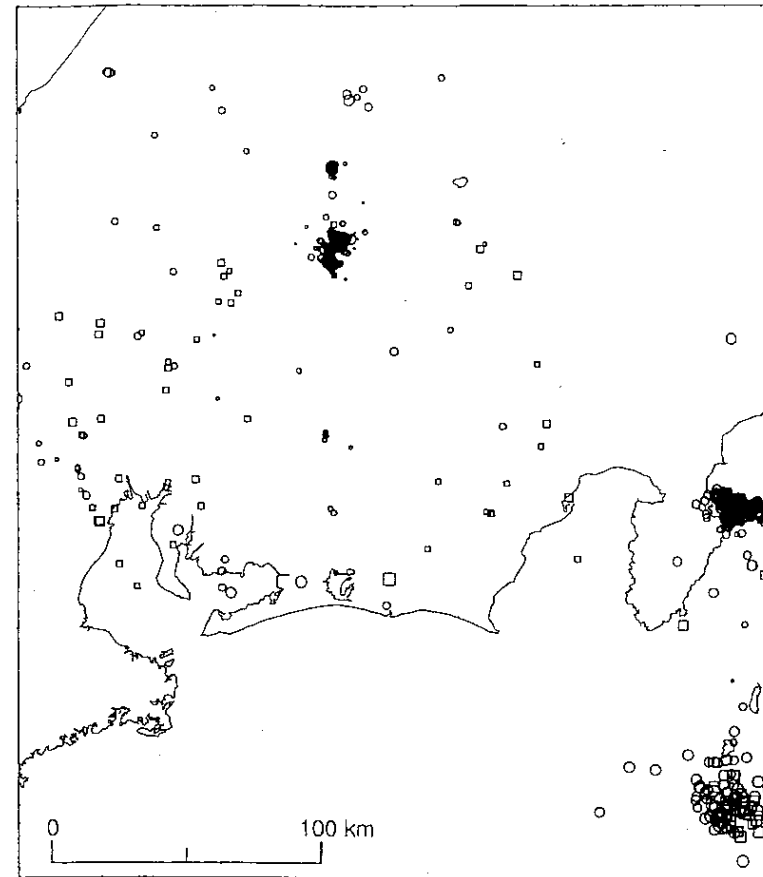


N = 310

DEPTH 0 10 20 km
○ □

MAG. 1 2 3 4
· ○ ○ ○

1995 5 1 - 1995 7 31



N = 824

DEPTH 0 10 20 km
○ □

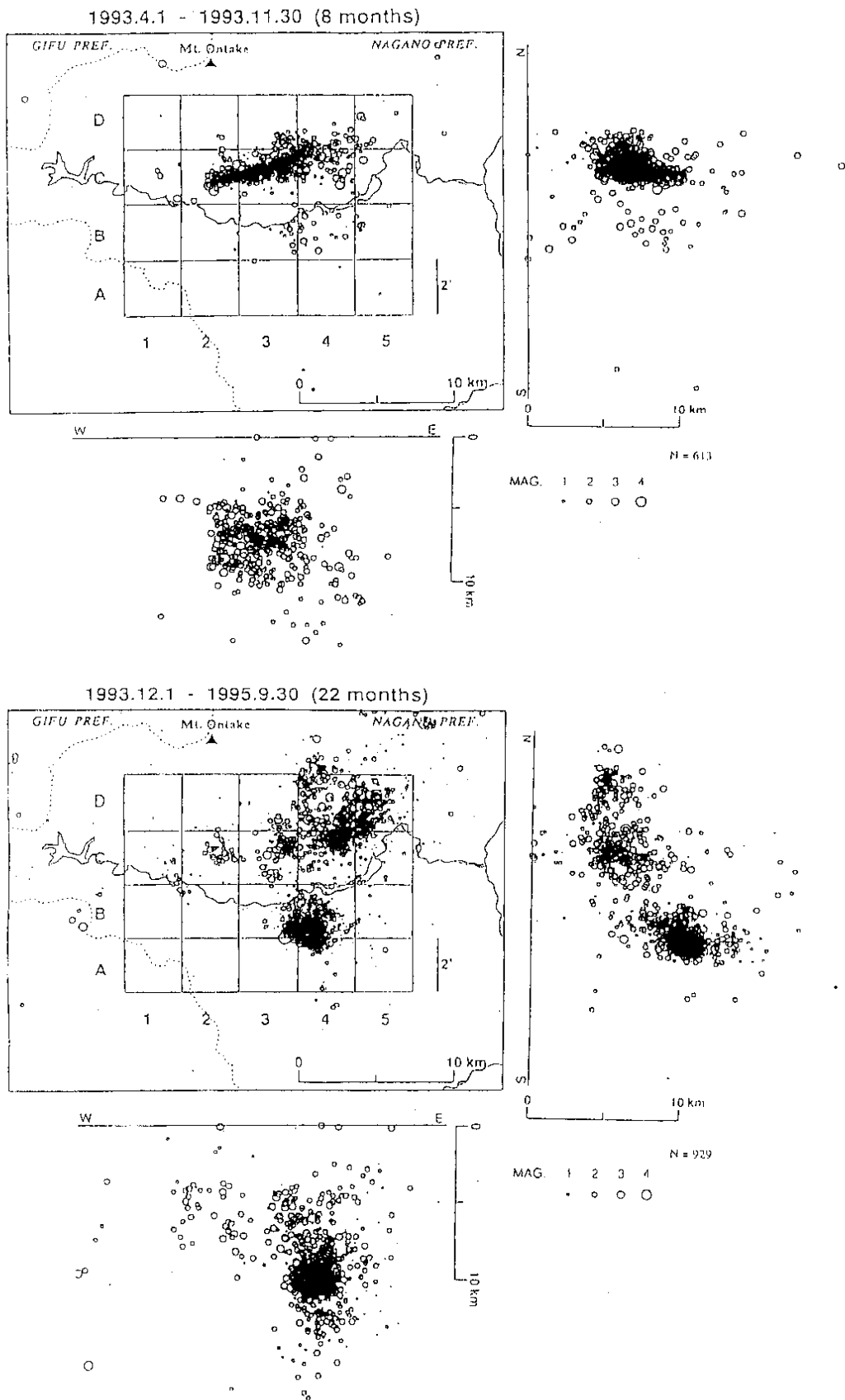
MAG. 1 2 3 4
· ○ ○ ○

1995 8 1 - 1995 10 31

(NAGOYA UNIV.)

第1図 微小地震の分布 (1995年5月1日~1995年10月31日) 震源の深さが20km未満のもの

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1-Oct. 31, 1995) shallower than 20km.



第3図 御岳山南東における地震活動の空間的变化 (1993年4月1日~1995年9月30日)
 Fig. 3 The variation of seismic activity since Apr. 1, 1993 to Sep. 30, 1995 in the south-eastern foot of Mt. Ontake.